

科目名	専攻科ゼミナール	科目コード A3030
-----	----------	----------------

専攻名・学年	環境都市工学専攻 1 学年 (プログラム3 学年)	担当教官	環境都市工学全教官		
単位数	2 単位・必修	開講期間	後期	時間数	30 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(0), 演習(30) 実験(0), その他( 0)
教科書	各指導教官の指示による				
補助教材	各指導教官の指示による				
参考書	各指導教官の指示による				

A 科目の概要	
<p>専攻分野における特定のテーマについて、指導教官の下で文献講義を行い、実験や解析、理論の展開、命題の導出などを行う方法について学習する。教材には外国語文献などを用い、外国語の能力を養成するねらいもある。</p> <p>テーマは以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汚染防止および微生物系解析についての調査研究</li> <li>環境地盤工学に関する調査研究</li> <li>気象・水文・雪氷環境学に関する調査研究</li> <li>地震防災計画学に関する調査研究</li> <li>模型実験における相似則についての調査研究</li> <li>都市計画に関する調査研究</li> <li>地盤・土構造物・地中構造物に関する調査研究</li> <li>コンクリート・鉄筋コンクリート工学に関する調査研究</li> </ul>	
B 到達目標	
<p>特定の学問・技術に関する学術文献の読み方と内容を学習し、その成果や文献学習作業を、特別研究や特別実験の遂行に応用できる。</p>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	( G )
D 履修上の注意	
<p>本科 4 年のプレ卒研生、5 年の卒研生との合同のゼミになる場合もあるので、専攻科生としてリーダーシップを発揮する。</p>	
E 評価方法	
<p>・特定の学問・技術に関する学術文献の読み方と内容を学習し、その成果や文献学習作業を、特別研究や特別実験の遂行に応用できる。(100%) 出席状況(30%)、レポート成績(70%)</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	各研究室単位による文献調査、実験、解析、プレゼン等	
2	" 以下 15 週まで	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		